



山里・未来プロジェクト

～未来へつなげる知恵を求めて～

NPO法人 まちづくり夢百笑

事業実績

6/9	オリエンテーション	12/6	プチセミナーⅡ 「地域おこし協力隊の留め型」
6/30	観光資源調査	12/15	地域創生講座Ⅱ「地域づくりの原点」
7/14	地域再生講座Ⅰ「地域存続への提言」	1/4	現地調査（住民全員対象）
8/4	地域再生講座Ⅱ 「地参・地笑の暮らしづくりに向けて」	1/26	プチセミナーⅢ「仕事の組み立て方」
8/24,25	地域づくり事例視察	1/31	ミニワークショップⅠ「地域×他地域」
9/15	地域再生講座Ⅲ 「仁堀地域の昔と今、そして未来へ」	2/7	ミニワークショップⅡ 「地域×小学校×大学」（サイエンス）
10/13	地域創生講座Ⅰ 「地域づくりをはじめよう！」	2/15	地域創生講座Ⅳ 「未来の地域のための取り組み」
11/10	プチセミナーⅠ「協同労働のはじめかた」	2/17	山村交流セミナーin和気
		2/19	ミニワークショップⅢ 「地域×保育園×大学」（木育）

地域創生プロジェクト（12講座）

- ・地域再生講座（3講座）
- ・地域創生講座（3講座）
- ・プチセミナー（3講座）
- ・ミニワークショップ（3講座）

地域発掘プロジェクト（3調査）

- ・現地調査
- ・観光資源調査
- ・地域づくり事例視察

山村交流セミナー（1回）

- ・オリエンテーション
- ・アクションプラン制作
- ・広報ツール制作

地域再生講座



地域創生講座



プチセミナー



ミニワークショップ



山村交流セミナー

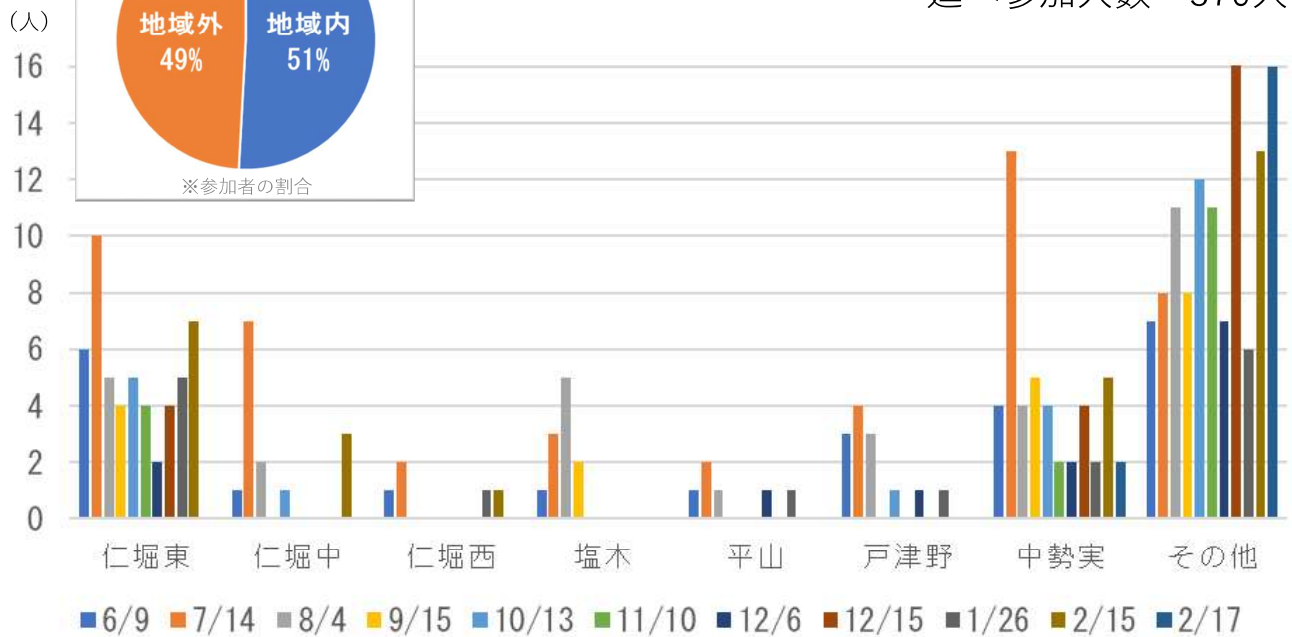


事業評価3つの視点

- ① 動員
- ② 事業継続
- ③ 地域存続

参加者集計結果

延べ参加人数 370人



参加者内訳

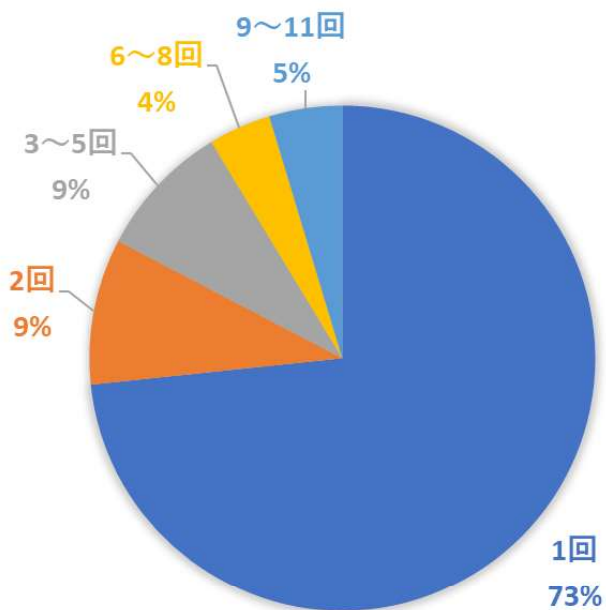
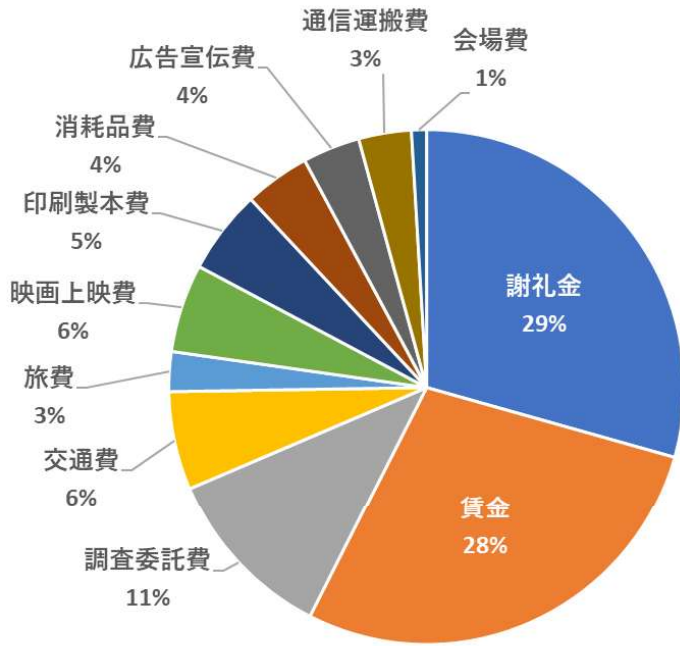


表 年代別参加者データ

年代	参加人数	延べ人数	レポート人数	レポート率
80歳代	7人	7人	0人	0%
70歳代	36人	57人	6人	17%
60歳代	41人	93人	16人	39%
50歳代	13人	24人	5人	39%
40歳代	27人	78人	10人	37%
30歳代	15人	21人	3人	20%
20歳代	4人	4人	0人	0%
10歳代	4人	4人	0人	0%
未記入	3人	3人	0人	0%
全体	150人	291人	34人	23%

※ワークショップ参加者数 (79人) 除く

執行予算内訳



事業後期より

外注型 地域再生講座・地域創生講座

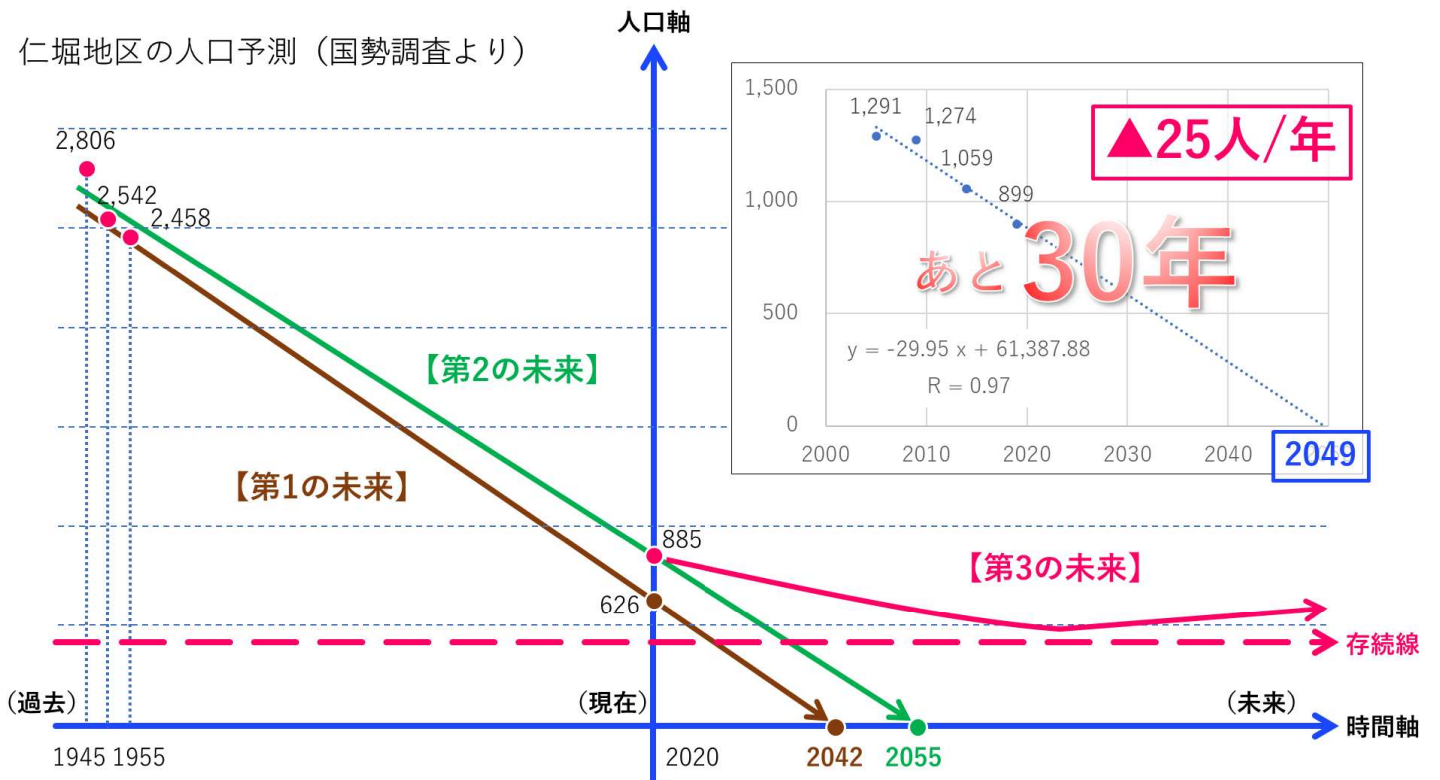
▼ ※講座開催ノウハウの蓄積による経費削減措置

セルフ型 プチセミナー・ミニワークショップ

表 費用削減効果

	外注型	セルフ型	増減
謝礼金	160,000	350,440	119%
旅費	20,500	0	▲100%
交通費	97,140	14,360	▲85%
賃金	488,820	19,000	▲96%
6講座計	766,460	383,800	▲50%
@1講座	127,743	63,967	▲50%

仁堀地区の人口予測（国勢調査より）



小地域ごとの簡易人口推計 ツール

名古屋大学大学院環境学研究所附属持続的共発展教育研究センター提供

◆解説 *このサイトは町丁目ごとの国勢調査結果
e-stat (リンク)
上記リンクから->国勢調査実施年度->小地域集計->都道府県->
年齢(5歳階級), 男女別人口

2010年と2015年のデータを用いて、小地域の人口将来推計を行うものです。
(1995年から5年ごとに選択可能)


主に人口減少が著しい地域で、小学校区ごとに、何もしない場合と移住・定住に取り組んだ場合の違いを見ることを想定しています。

*現在の趨勢が続く場合の計算は「コーホート変化率法」を用い、シナリオに基づく推計は「コーホート率を変えずに、出生率を変化させるおよび指定された毎年一定数の移住者の人数を当該年齢階級に加える」という方法で計算しています。

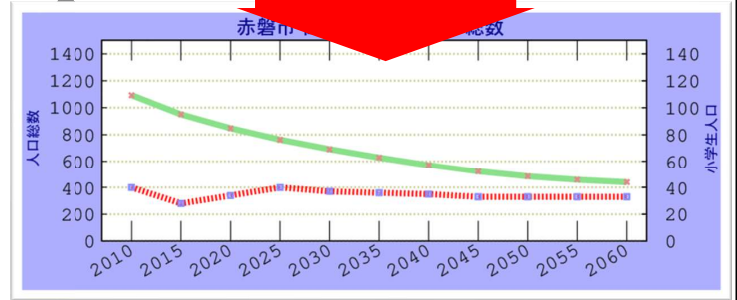
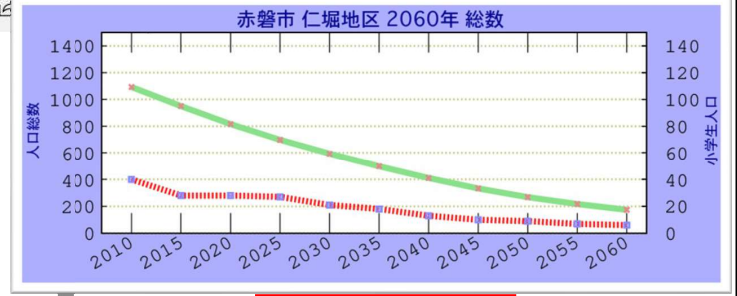
出生率は女子子ども比に女性の出産年齢階層(15歳~49歳の7階層)の数をかけて計算しています。

*生成されるグラフは、5年ごとに人口ピラミッド(男女をあわせた総数)と全人口および小学校在学年齢人口が表示されます。
また、高齢化率の変化(2015年時点での小地域率および指定されたシナリオ)が表示されます。
また、高齢化率の変化(2015年時点での小地域率および指定されたシナリオ)が表示されます。

小地域ごとの簡易人口推計ツール
<http://zinen1000.xsrv.jp/upop/>

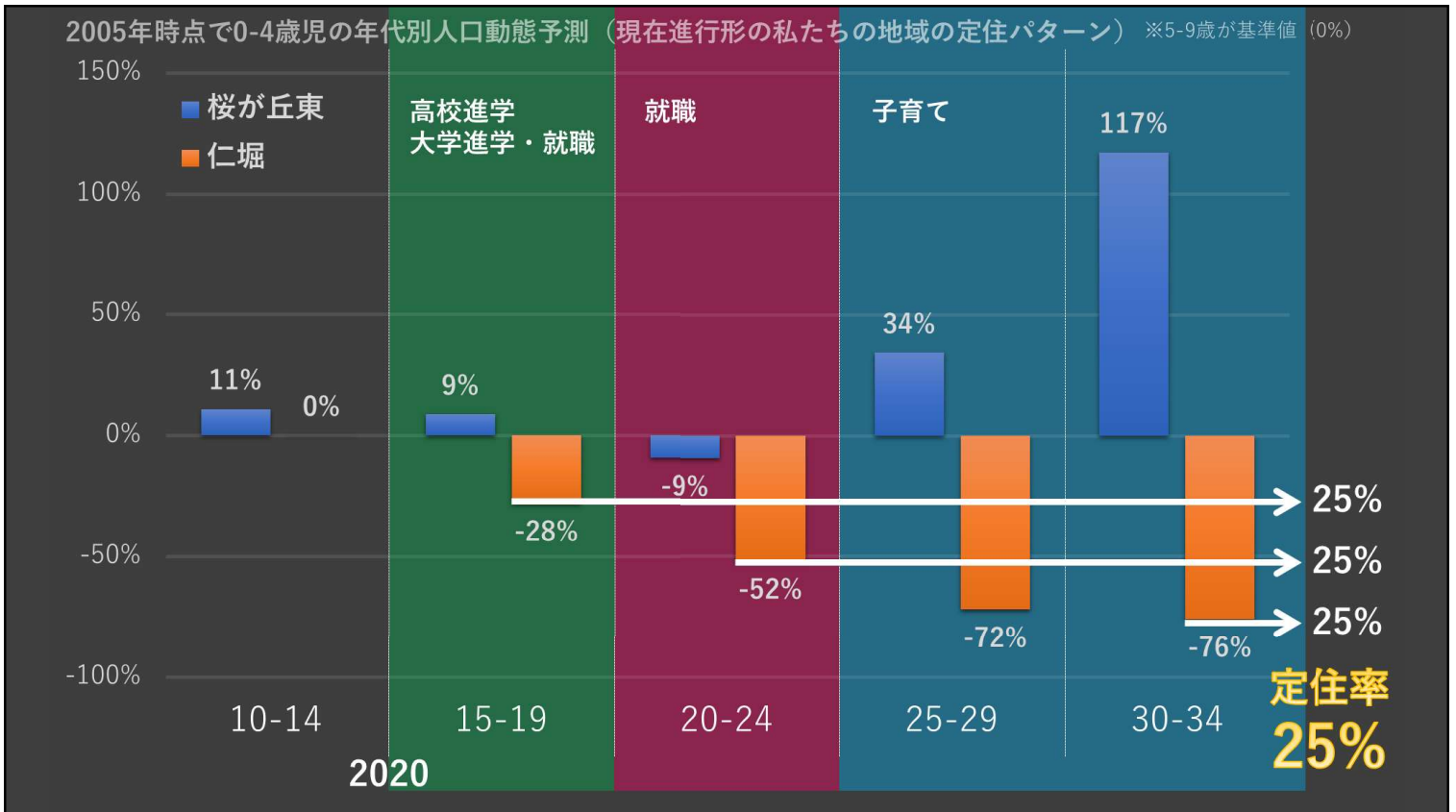


仁堀地区は今のままでと...



項目	2020	2060	
		現状	2世帯増
人口	800人	200人	400人
小学生	35人	5人	35人

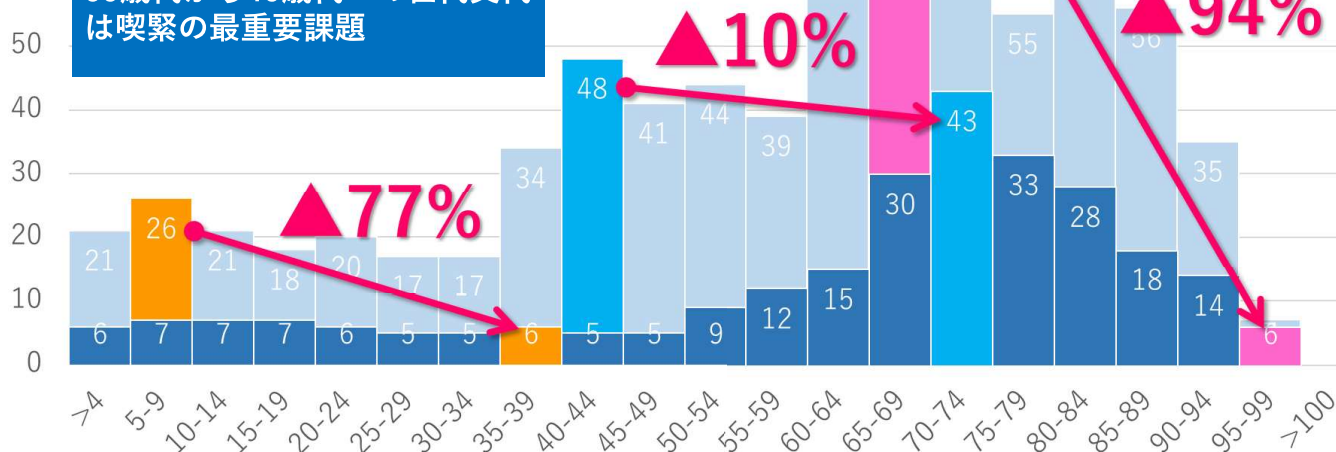
【人口】 1/2に減少
【小学生】 現状維持



(人) 仁堀地区の人口構成推移 (30年後)

2020 → 2050

これからの30年間で地域存続を決定づける一番重要な時期
60歳代から40歳代への世代交代は喫緊の最重要課題



5年前の人口との比較



30%

【次世代地域づくり期】

70%

人口の減少率

減少人口全数との比較



高年齢者雇用安定法

定年

※退職は15%

年金受給開始

平均寿命 (2018)

男性 81.25歳

女性 87.32歳



地域存続のポイント

◎ 今後30年間で最大の山場

- ・人口が0になる
- ・地元育ちの若者の流出期間

◎ 適切なタイミングでバトンタッチ

どの年代に引き継ぐのが重要かを知っておく

◎ 毎年がターニングポイントの気持ちで

一つの課題でも先送りできるほどの猶予はない

本事業で達成したこと・しなかったこと

◎ 地域存続に対する問題意識の顕在化

- ・危機意識UP
- ・当事者意識UP

◎ アクションプラン（5か年計画）の制作

地域の3つの課題の設定と対策

× 住民主体の地域づくり

これから必要なのは1期30年の住民主体の地域計画

今後の方向性

住民のアイデアを**実現できる**形にする地域

次年度実施予定の活動「移動カフェ」

総合福祉拠点化・小さな拠点化

当団体の「福祉サービス」の充実（有償福祉輸送等）
「仕事おこし」をスタート